

懐メロや童謡で高齢者ら交流

うたごえ広場 「出前」します

高齢者と障害者が懐かしい歌謡曲や童謡を歌う「うたごえ広場」を徳島市で開いているボランティア「友の会」ひまわりが、依頼を受けた場所に出向く「出前うたごえ広場」を始める。介護施設関係者らから要望が相次いだため、第1弾は8月2日、三好市三野町のレクリエーション施設「健康とふれあいの森」で開く。

徳島市の来月三好で第1弾
ボランティア



うたごえ広場は高齢者の居場所づくりを目的に、2009年4月から毎月第3土曜日、徳島市昭和町3のヒューマンわーくびあ徳島で開いている。オルガンとギターの演奏に合わせ、20曲ほどを歌う。当初の参加者は20人ほどだったが、誰でも気軽に参加できると評判が広がり、今では100人を超える日

もある。12年からは視覚障害者も加わっており、見学に訪れた介護施設や老人会の関係者から「うちの施設でも開いてほしい」との声が上がるようになった。

出前うたごえ広場は原則、毎月第1土曜日に開く。対象地域は徳島、鳴門両市と板野郡、石井町だが、他の地域でも相談に応じる。参加費は1人500円(菓子と飲料代)。会場費は依頼者が負担する。

ひまわり代表の前田すづ子さん(66)は「地域の皆さんで楽しく歌い、心と体を元気にしませんか」と話している。問い合わせは、ひまわり事務局のシヨブとくしま(電0888(6522)4510)。(新居和人)

大勢の高齢者や障害者が楽しく歌う「うたごえ広場」徳島市のヒューマンわーくびあ